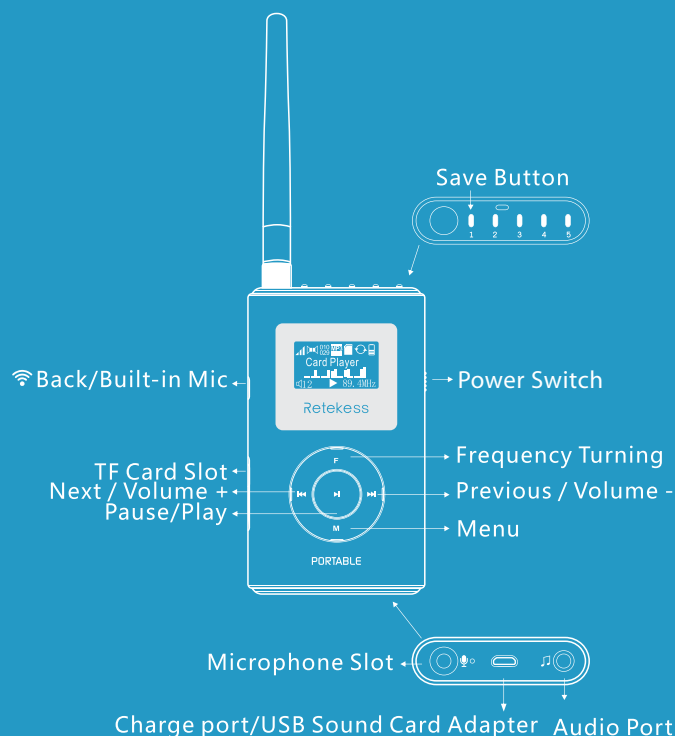


Retekess

ポータブルFMトランスミッター 取扱説明書



1. 電源のオン/オフ

【電源オン】

電源スイッチを下にスライドさせ、スイッチの下の緑色の部分が見えるようにすると、送信機が作業モードになります。

【電源オフ】

電源スイッチを上スライドさせ、スイッチの下の赤い部分が見えるようにすると、送信機が機能しなくなります。

2. メインインターフェース操作

【再生一時停止】

TFモードまたはコンピュータサウンドアダプタモードでは、【▶▶】ボタンを短く押すと、オーディオを再生または一時停止できます。

【前へ】

TFモードまたはコンピュータサウンドアダプタモードでは、【◀◀】ボタンを短く押して前のビデオを再生します。

【次に】

TFモードまたはコンピュータサウンドアダプタモードでは、【▶▶】ボタンを短く押して次の動画を再生します。

【ボリューム】

【◀◀】ボタンを長押しすると音量が下がり、【▶▶】ボタンを長押しすると音量が上がります。

【内蔵マイクを起動します】

【📶】ボタンを長押しして内蔵マイクをオンにします。【📶】ボタンを押すのをやめると、マイクが切れます。

【画面をオンにする/戻る】

【📶】ボタンを短く押すと、画面が明るくなり、メインインターフェースに戻ることができます。

3. FM周波数設定

【周波数】

【1周波数】が表示されるまで【F】ボタンを長押しします。【◀◀】または【▶▶】ボタンを短く押すと、周波数は毎回100K進みます。

【◀◀】または【▶▶】ボタンを長押しすると、毎回1MHz進みます。

【RFパワー】

【2RF電源】が表示されるまで【F】ボタンを長押しします。【▶▶】ボタンを短く押すと電力率が上がり、【◀◀】ボタンを短く押すと電力率が下がります。重要：車などの狭いエリアでの使用では、低電力レートモードをお勧めします。

【内蔵マイク】

【3内蔵MIC】が表示されるまで【F】ボタンを長押しします。【▶▶】または【◀◀】ボタンを短く押すと、内蔵マイク設定モードになります。

◆【外部MIC】とは、内蔵マイクをオフにすることです。

◆【MIC ONキー】は、内蔵マイクをオンにすることを意味します。

◆【MIC常にON】内蔵マイクはいつでも準備ができていたことを意味します。

1

【サウンドチャンネル】

【4サウンドチャンネル】が表示されるまで【F】ボタンを長押しします。【◀◀】または【▶▶】ボタンを短く押して、FMサウンドトラックを設定します。

【プリエンファシス】

【5プリエンファシス】が表示されるまで【F】ボタンを長押しします。【◀◀】または【▶▶】ボタンを短く押して、FMプリエンファシス時間を設定します。

4. MP3の設定

【マイクVOL】

【1MICVOL】が表示されるまで【M】ボタンを長押しします。【◀◀】ボタンを短く押すとマイクの音量が上がります。【▶▶】を短く押してマイクの音量を下げます。

【マイクエコー】

【2MICECHO】が表示されるまで【M】ボタンを長押しします。短押し【◀◀】エコー音量を上げるボタン。【▶▶】を短く押してエコー音量を下げます。

【MIC遅延】

【M】ボタンを【3MICディレイ】が表示されるまで押し続けます。【◀◀】ボタンを短く押すとマイクディレイが上がります。

【▶▶】を短く押すと、マイクの遅延が少なくなります。

【EQ】

【M】ボタンを【4EQ】が表示されるまで押し続けます。【◀◀】または【▶▶】ボタンを短く押すと、キット全体の効果音を設定できます。

【繰り返し】

【M】ボタンを【5リピート】が表示されるまで押し続けます。【◀◀】または【▶▶】ボタンを短く押すと、MP3サイクルモードを設定できます。

【ベース】

【6BASS】が表示されるまで【M】ボタンを長押しします。【◀◀】または【▶▶】ボタンを短く押すと、キット全体のBASSを設定できます。

【TREB】

【7TREB】が表示されるまで【M】ボタンを長押しします。【◀◀】または【▶▶】ボタンを短く押すと、キット全体のトーンを設定できます。

【言語】

【言語】が表示されるまで【M】ボタンを長押しします。【◀◀】または【▶▶】ボタンを短く押すと、キット全体の言語を設定できます。

5. 周波数の保存と使用保存された周波数

希望の周波数を確認し、周波数ボタンが点滅するまで保存ボタンを長押しします。したがって、この周波数が節約されます。次回この周波数に切り替えたいときは、保存ボタンを短く押すだけで見つけることができます。

6. TFカード、オーディオ入力、USBサウンドカード、マイク

【TFカードのインストール】

カードスロットにTFカードを入れ、【メインインターフェース操作】をフォロー

【オーディオ入力再生】

このアイテムを3.5mmオーディオケーブルでオーディオソースデバイスに接続します。メインインターフェースにコネクタアイコンが表示されます。これで接続は終了です。

【USBサウンドカードディスプレイ】

このアイテムをUSBケーブルでコンピューターに接続します。メインインターフェースにコンピュータアイコンが表示されます。これで接続は終了です。

【ヒント：オーディオソースの優先度】

オーディオ入力> USBサウンドカード> TFカード

【外部マイク】

外部マイクコネクタを送信機のmicrophメインインターフェースに接続すると、マイクアイコンが表示されます。接続が成功したことを意味します。

【ヒント：マイクの優先順位】

外部マイク>内蔵マイク
外部マイクは3ステップコンデンサーマイクである必要があります。

7. 充電

送信機は、USBケーブルでUSB電源装置に接続すると充電できます。

ヒント：アイテムはオンモードとオフモードの両方で充電できます。

8. 注意事項


- ◆アンテナが取り付けられていないときは、送信機の電源を入れないでください。
- ◆ガソリンスタンドや石油倉庫などの爆発性環境で送信機を使用しないでください。
- ◆この送信機を使用するときは、地域の法律および規制に従ってください。
- ◆この送信機の修理は、専門の技術者のみが操作できます。

9. テクノロジーパラメータ

No.	インデックス	データ
1	パワー	5V、1000mA
2	バッテリー容量	3.7V、2000mA
3	バッテリーの耐久性	FT11 ≤ 10h
		TR504 ≤ 8h
4	作業電力	FT11 < 200mA
		TR504 < 300mA
5	周波数安定性	± 10PPM

No.	インデックス	データ
6	周波数	76~108MHz
7	周波数ステップ	100KHz
8	作業温度	-10 C ~ 45 C
9	出力インピーダンス	50Ω
10	RF出力電力率	FT11: 1mW~300mW
		TR504: 10mW~600mW
11	調和とノイズの波	≤ -30dB
12	TFカードの容量	≤64G
13	オーディオフォーマット	FLAC、WAV、PCM、WMA、MPS
14	オーディオの歪み	0.1%
15	応答周波数	30Hz ~ 15000Hz
16	絶縁	≥ 40dB
17	入力電位	≤ -15~15dBV
18	周波数オフセット	± 75KHz
19	SNR.	≥ 70dB
20	アイテムサイズ	99*58*15mm
21	アイテムの重量	76g

10. 警告



この無線機を使用する前に、このガイドをお読みください。このガイドには、安全に使用するための重要な操作手順と、該当する規格および規制に準拠するためのRFエネルギーの認識と制御が含まれています。



小さな部品。3歳未満の子供は対象外です。

リスクを減らすために

- 充電器を外すときは、コードではなくプラグを引っ張ってください。
 - メンテナンスやクリーニングを行う前に、充電器をACコンセントから抜いてください。
 - 修理とサービスに関するサポートについては、Retekeessにお問い合わせください。
 - アダプターは機器の近くに設置し、簡単にアクセスできるものでなければなりません。
 - バッテリーを間違ったタイプと交換すると、爆発の危険があります。
- 使用済みのバッテリーは、指示に従って廃棄してください。
- アダプターは機器の近くに設置し、簡単にアクセスできるようにする必要があります。
 - アダプターの切断装置と見なされるプラグ。
 - EUTの動作温度は指定された範囲を超えることはできません。

承認されたアクセサリ



- この無線機は、製品に付属または指定されているRetekeessアクセサリと一緒に使用すると、RF曝露ガイドラインに適合します。他のアクセサリを使用すると、RF曝露ガイドラインへの準拠が保証されず、規制に違反する可能性があります。
- 無線モデル用のRetekeess承認済みアクセサリのリストについては、次のWebサイトにアクセスしてください。

聴覚を保護



- 仕事をするのに必要な最小の音量を使用してください。
 - 騒がしい環境にいる場合にのみ音量を上げてください。
 - ヘッドセットまたはイヤピースを追加する前に、音量を下げてください。
 - ヘッドセットまたはイヤピースを大音量で使用する時間を制限します。
 - ヘッドセットやイヤピースなしでラジオを使用する場合は、ラジオのスピーカーを耳に直接当てないでください。
 - イヤホンには注意して使用してください。イヤホンやヘッドホンからの過度の音圧は難聴を引き起こす可能性があります。
- 注：ソースからの大きなノイズに長時間さらされると、一時的または永続的に聴覚に影響を与える可能性があります。ラジオの音量が大きいくほど、聴覚に影響を与えるまでに必要な時間は短くなります。大きな音による聴覚障害は、最初は検出できない場合があり、累積的な影響を与える可能性があります。

やけどを避ける



- ### アンテナ
- アンテナが損傷している携帯ラジオは使用しないでください。ラジオの使用中に損傷したアンテナが皮膚に接触すると、軽度の火傷を負う可能性があります。
- ### バッテリー（該当する場合）
- 宝飾品、鍵、チェーンなどの導電性材料が電池の露出した端子に触れると、電気回路が完成し（電池が短絡）、熱くなり、火傷などの人身事故を引き起こす可能性があります。バッテリーの取り扱いは注意してください。特に、ポケット、ハンドバッグ、または金属製の物体が入ったその他の容器にバッテリーを入れる場合は注意してください。
- ### トランスミッション
- トランスミッターを長時間の送信に使用すると、ラジエーターとシャーシが高温になります。

安全操作



- ### 禁止
- 屋外や湿気の多い環境では充電器を使用しないでください。乾燥した場所/条件でのみ使用してください。
 - 充電器を分解しないでください。感電や火災の危険があります。
 - 充電器が破損または損傷している場合は、充電器を操作しないでください。
 - エアバッグの上の領域またはエアバッグ展開領域に携帯ラジオを置かないでください。ラジオは大きな力で推進され、エアバッグが膨張すると車両の乗員に重傷を負わせる可能性があります。

Retekeess相談窓口

メールアドレス： support@retekeess.jp
 平日9：15~12：00/13：00~17：30
 (土・日・祝日・年末年始・GW・夏期休業等を除く)
製造元
 Henan Eshow Electronic Commerce Co.,Ltd
 公式サイトウェブサイト <http://retekeess.jp/>
 YouTube: 【公式】RetekeessJP「レテケサー」
 Twitter: @JPRetekeess
 Instagram: retekeessjp

